

田中貴金属工業、2004年度～2010年度上半期の 燃料電池用触媒出荷量（指数）を発表

- 2010年度上半期経過時点で、月平均が過去最高、2010年度は過去最高の総出荷量となる見込み
- 自動車用は、研究開発が活発化した2006年度に過去最高値を記録、現在も市場を牽引
- 家庭用は、エネファームの本格的な販売開始と積極的な普及拡大により2009年度から急激に増加

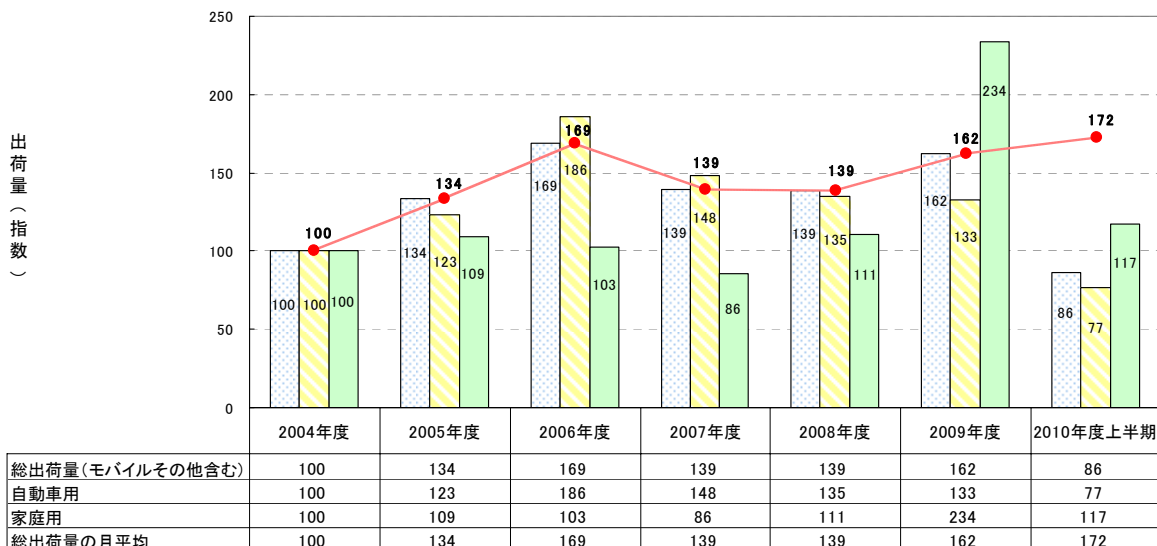
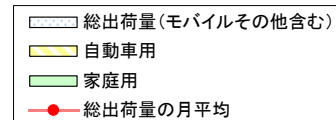
TANAKA ホールディングス株式会社（本社：千代田区丸の内、代表取締役社長：岡本英彌）は、燃料電池用触媒で世界トップシェアを誇る、田中貴金属グループの田中貴金属工業株式会社（本社：千代田区丸の内、代表取締役社長：岡本英彌）が、2004年度から2010年度上半期まで（2004年4月～2010年9月）の燃料電池用触媒の用途別出荷量（指数）をまとめたことを発表します。

【総出荷量レビュー】

2004年度の総出荷量を基準にすると、自動車用燃料電池の開発が活発だった2006年度は、自動車向けの出荷量が全体を牽引したことで、年間の出荷量が過去最高の169%を記録。その後、自動車向けの需要が落ち着いたことや、2008年9月に起きたリーマンショックの影響もあり、出荷量は減少。しかし、2009年度には家庭用燃料電池の本格的な導入開始を背景に162%にまで復帰し、現在も増加傾向にあります。年間の出荷量を月平均値で見ると、2010年度の上半期を経過した現在、過去最高の出荷量を記録しており、このままの推移で出荷が続くと、2010年度は過去最高の年間出荷量となることが推測されます。

燃料電池用触媒 用途別出荷量の推移

※2004年度（2004年4月～2005年3月）の年間出荷量を100とした指数
 ※2010年度は上半期（2010年4月～9月）のみの出荷量



【自動車用燃料電池触媒レビュー】

燃料電池への期待の高まりを受け、自動車用燃料電池の研究開発が活発となった 2006 年度は、過去最高の 186%まで出荷量が大幅に増加しました。その後、研究開発用の需要が一旦落ち着いたことから、2009 年度には 133%となりましたが、2010 年度上半期の時点では 77%まで出荷量を伸ばしており、現在は実証試験を継続しながら、本格的な導入への準備段階に入ったと考えられています。

【家庭用燃料電池触媒レビュー】

2004 年から 2008 年までの 5 年間、国家プロジェクトとして家庭用燃料電池の実証実験が行われていましたが、2009 年度より「エネファーム」として、本格的な販売が開始されたことで出荷量も急激に増加、過去最大の 234%を記録しました。2010 年上半期も既に 117%の出荷量を記録しており、今後の本格的な普及とともに更なる出荷量の増加が見込まれます。

クリーンで地球環境にも優しく、エネルギー効率も良い燃料電池は、コストや耐久性、性能などへの課題もありますが、次世代エネルギーの利用技術として現在も技術開発研究や、実証実験、インフラ整備が国家レベルで支援され、実用化、普及拡大が積極的に進められています。そのため燃料電池の燃料改質器や電極の触媒に不可欠な貴金属触媒も今後、更なる需要が見込まれます。

田中貴金属工業では、燃料電池の市場需要をいち早く見極め、顧客のニーズに対応するとともに、コスト削減と資源の有効利用のため、希少な貴金属の使用量を減らす研究やリサイクルの強化を図り、今後の燃料電池の普及に向け、新技術や新商品の開発に取り組んでまいります。

■TANAKA ホールディングス株式会社（田中貴金属グループを統括する持株会社）について

本社：東京都千代田区丸の内 2-7-3 東京ビルディング 22F

代表：代表取締役社長 岡本 英彌

創業：1885 年

設立：1918 年

資本金：5 億円

従業員数：3,434 名（2009 年度グループ連結）

売上高：7,102 億円（2009 年度グループ連結）

グループの主な事業内容：貴金属地金（白金、金、銀 ほか）及び各種工業用貴金属製品の製造・販売、輸出入及び貴金属の回収・精製

HP アドレス：<http://www.tanaka.co.jp>

工業製品アドレス：<http://pro.tanaka.co.jp>

■田中貴金属工業株式会社について

本社：千代田区丸の内 2-7-3 東京ビルディング 22F

代表：代表取締役社長 岡本 英彌

創業：1885 年

設立：1918 年

資本金：5 億円

従業員数：1,599 名（2009 年度）

売上高：3,888 億円（2009 年度）

事業内容：貴金属地金（白金、金、銀 ほか）及び各種工業用貴金属製品の製造・販売、輸出入及び貴金属の回収・精製

HP アドレス：<http://pro.tanaka.co.jp>

<田中貴金属グループについて>

田中貴金属グループは 1885 年（明治 18 年）の創業以来、貴金属を中心とした事業領域で幅広い活動を展開してきました。2010 年 4 月 1 日に TANAKA ホールディングス株式会社を持株会社（グループの親会社）とする形でグループ再編が完了しました。ガバナンス体制を強化するとともにスピーディーな経営と機動的な業務執行を効率的に行うことにより、お客様へのより一層のサービス向上を目指します。そして、貴金属に携わる専門家集団として、グループ各社が連携・協力して多様な製品とサービスを提供しております。

国内ではトップクラスの貴金属取扱量を誇る田中貴金属グループでは、工業用貴金属材料の開発から安定供給、装飾品や貴金属を活用した貯蓄商品の提供を長年に渡り行ってきました。今後も貴金属のプロとしてグループ全体で、ゆとりある豊かな暮らしに貢献し続けます。

田中貴金属グループの中核 8 社は以下の通りです。

- ・ TANAKA ホールディングス株式会社（純粋持株会社）
- ・ 田中貴金属工業株式会社
- ・ 田中貴金属販売株式会社
- ・ 田中貴金属インターナショナル株式会社
- ・ 田中電子工業株式会社
- ・ 日本エレクトロプレイング・エンジニアーズ株式会社
- ・ 田中貴金属ジュエリー株式会社
- ・ 田中貴金属ビジネスサービス株式会社